

## 宇治公民館に係る考え方について

平成30年3月に閉館いたしました宇治公民館に係る考え方について、報告いたします。

### 1. 宇治公民館閉館後の経過

【第8期生涯学習審議会答申 平成31年2月】

宇治公民館の閉館に伴い、活動場所や内容を変更して活動を継続している団体等もあることから、生涯学習を推進する上で、活動の場や地域性について十分に配慮する必要がある

【公民館の今後のあり方について（最終案） 令和2年1月】

課題：宇治公民館閉館に伴う、周辺住民の学びの場に関する地域性を考慮する必要がある

取組：中宇治地域に学びの場を確保する

### 2. 生涯学習審議会委員及び教育委員の意見

○第11期生涯学習審議会（令和5年7月25日～）

- ・答申、公民館のあり方（最終案）、公共施設の将来像の方向性は同じ
- ・公民館、コミセン、福祉センターなどの利用実態が重なってきている。それらを集約した施設が宇治市に何か所かあればよい
- ・公民館等を利用していない子育て世帯、若年層のニーズに応えるため、多世代交流の場となるべき

○12月定例教育委員会（令和5年12月22日）

中宇治地域市民協働推進拠点が開館して、そこが社会教育を含む生涯にわたる学びの場となるのであれば、中宇治の学びの場としてはよいのではないかと思う

○2月定例教育委員会（令和6年2月5日）

宇治市の財政状況を鑑み、今から同一地域内で複数の公共施設を整備することは難しい。中宇治地域市民協働推進拠点が学びの場として機能するように市長部局と連携して取り組むことが市教委の役割である

宇治公民館閉館後も大部分のサークルが活動を継続できていること、中宇治地域市民協働推進拠点が中宇治地域の新たな学びの場となることから、中宇治地域に宇治公民館を再建しなくても学びの場は一定充足する

### 3. 宇治公民館について

- 宇治公民館利用者の学びは、生涯学習センターや中央公民館で継続されている
- 新たに「中宇治地域市民協働推進拠点」も学びの場となる
- 同一地域に同様の機能を持つ複数の施設を整備することは必要ない

**⇒宇治公民館については基本的に再建しない**